

勤めながら出来る 発明起業

4

日曜発明ギャラリー代表
小林 豊博



日常の問題意識が、 ひらめきを導く、それを磨け!

「なんて殺風景なんだろう、みんな、自分の顔や、スポーツ応援キャラクターをプリントし、頭の後ろにヘッドカバーにして被ると面白いのに！」駅の構内の階段で、沢山の人々の後ろ姿を見て思つたことでした。



ラッシュ時の駅構内階段からの風景

通勤で、毎日見かける光景ですが、その日は真剣にそう思ったのです。ヒラメキという現象があるなら、これがそうだと思ひます。早速、作つてみたのが右の写真のズキンでした。

サーカのJリーグの応援グッズにピッタリだと思い込んでしまいました。頭の前で縛るバンドも、ウサギの長い耳に似せて、可愛く形どりました。

「私のアイデアを盗まれてはいけない」、このとき初めて、東京新宿の発明学会を、恐る恐る訪ねたのです。

「デザインだけですか、なにか足りないですね？」私よりズーッと若い相談員の言葉でした。

「やっぱり、だめか？」とうなだれた。その時、そこへ丁度、杖をもった御老公のような方が現れた。(当時会長の豊沢豊雄先生だった)「それは何だね？おもしろいね、XXXXにわしの知り合いがいるから紹介してあげよう！」とおっしゃるのであります。XXXXは誰で知っている有名なキャラクターグッズも扱う、おもちゃメーカーです。

うなだれていた私の頭が、ピンと起き上がり、一度退室し、近くのATMへ行き、お金を下ろして、

また来て、1万8千円程払い、その日に発明学会に入会したのを覚えています。

真夏にサッカーを観戦した、容赦なく真夏の直射日光は後頭部を照りつける。みんなタオルをかぶったり、中にはタオルに水をつけたりしていました。

「何かが足りない！」と若い相談員に言われたことを思いだしました。

「頭を冷やすものができないだろうか？」それから、私の発明のテーマは「炎天下で頭を冷やす、涼しくする！」になりました。

その後の私のポケットメモはそのテーマに関する材料や、メーカ情報、構造、形状アイデアの記載が多くなりました。

心の中の問題意識が、ひらめきを導いたのであるから、それを徹底的に磨いてみようと思ったのです。

家には小型犬のマルチーズがいます。室内で飼っているので、おしっこの処理に、使い捨ての吸水シートを使っていま



最初の試作品

した。これを分解すると、粒子状の高分子吸水材が入っています。これを、布に糊で塗って、手作りの頭巾の裏側に縫い付けました。

これを、水に浸す、軒先で乾燥させるといったことを繰り返しました。

吸水性高分子が水を吸い、ぬるぬると生地の隙間から出てきたり、水を吸いすぎて、重すぎたり、また、3日間乾燥させても、乾ききらず、カビが発生したり、3回程度で吸水しなくなったりました。

繰り返し使える吸水材が必要でした。特許を調べました。そこに、吸水性高分子を繊維に直紡し、繰り返し吸水性能力を持つ高吸水繊維が特許公開されました。その大手繊維メーカの発明者に電話して会うことができました。なんとか、試作品を作れるだけのサンプルを頂けることになったのです。

次回は発明アイデアの達成感について話します。

【著者】ある大手電機会社の開発エンジニアを30年ほど経験、その後、住宅設備営業企画部門へ転属。そのころから趣味の発明を始め、「冷える帽子クールビット」で特許、意匠、商標等多数登録。定年を契機にその会社の運営に携わる。

No.652

12月号

発明ライフ®

2009年



発行所 社団法人発明学会

発行・編集人 平井工

〒162-0055 東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎ 03-5366-8811(代) FAX03-5366-8495

ホームページ <http://hatsumei.jp>

郵便振替口座 00110-2-159673

年間購読料5,000円/1部500円(送料68円)

(会費中に購読料を含む)

生活用品 健康・介護 園芸関連 の
入選作100点(応募1,987点中)を展示

第13回 身近なヒント発明展
展示会 盛大に開催

●発明の楽しさと感動を与えてくれる入選作100点

「身近なヒント発明展」は、企業に発明作品をPRして、商品化を実現してもらうために開催していますが、今年で13回目を迎えました。

毎年、商品化を実現するために多くの方にご支援をいただいております。本当にありがとうございます。

今回の、応募総数は1,987件でした。

その中で、一次審査で選出された100点の力のこもった試作品が発明学会ビルの3階の展示ホールに勢ぞろいしました。

一般の方には、10月9日(金)、10日(土)、11日(日)の3日間公開し、たくさんの方に見ていただきました。

発明者の思いが試作品に込められていました。同時に、便利さやユーザーへのいたわりの心、発明の素晴らしさも伝わってきました。

展示した人の中には、来場者に試作品を使って、実演しながら、作品の素晴らしさを手作りの説明書やパンフレットを配布しながらPRする人もいました。



会場風景

発明ライフ -12月号目次-

- 第13回身近なヒント発明展展示会
- ・発明展会場風景・協賛企業合同審査会
- ・発明学会大賞受賞発明作品・特別賞に輝く発明作品
- ・身近なヒント入賞者発表 1~6
- アイデアヒラメキの瞬間④ 7
- 勤めながらできる発明起業④ 8
- 発明が発する幸福感④ 9
- アイデア求めます
- 「ゴルフ・スポーツ用品」「家庭日用品」 10
- この会社に商品化提案
- 「全方位ゴムボールキャスター」の新用途アイデア 11
- シリコーンゴムアイデアコンクール入賞発表 12
- 会館建設寄付者/東京日曜発明学校/
- 発明エンジョイコミュニティ/新刊案内 13
- 発明と特許講座のご案内 14・15
- 繊維アイデアコンクール 応募今月締切 16